

ようそろ



特定医療法人 財団五省会

西能病院

整形外科センター 西能クリニック

西能みなみ病院

介護老人保健施設 みどり苑

発行人 理事長 西能 淳

2014
秋

vol.190

雑感——英国に学ぶ

先頃おこなわれたスコットランドのイギリス（連合王国）からの独立を問う国民投票。結果は「元さや」に収まったが、背景には、社会保障のあり方や油田の利権をめぐる根深い葛藤があり、国家の行く末を国民が主体的に決定する歴史的イベントとなった。

国家の命運が懸かった一大事を、スコットランド住民単独での投票によって決着させるといふ、身も蓋もなく深い民主主義のプロセスにまず驚く。こうした非常事態に至る前に融和を図るべきだったと、英国キャメロン首相の脇の甘さを批判する声もある。だが、切実な利害の対立を前にしたとき、「政治的解決」などというどこか寝技的な駆け引きが立ち行かなくなりつつあるのが今の世界の現実なのかもしれない。近隣では領土問題をめぐるロシアとウクライナとの軍事的対立の余波で、無関係の民間航空機が撃墜されるという信じがたい悲劇が起こった。賛否両論あれども、明快かつ平和的な解決を手にしたイギリスの民主主義の成熟ぶりに学ぶものはある。

翻って日本では、国家財政の「お荷物」ともされる社会保障、特に医療や介護について、国家の戦略と国民の意識の溝が依然として埋まっていない。

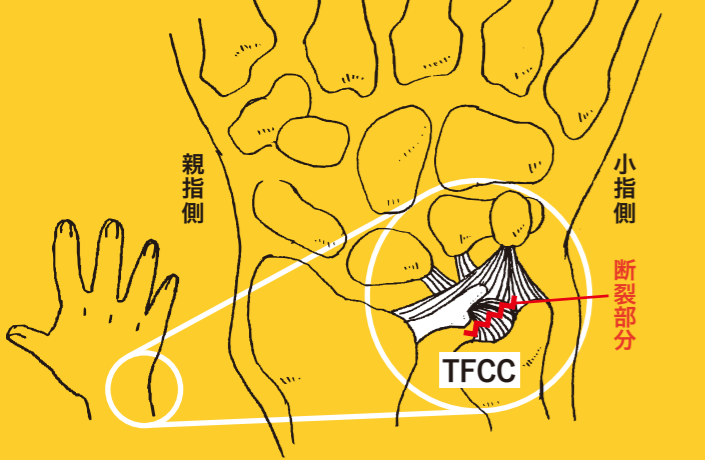
先日ある県で『地域包括ケアシステム』の名称を知っているかとの意識調査を行ったところ、中高年の9割が「知らない」と回答した。別の調査では、一人暮らしの高齢者を対象に介護が必要になったときの備えについて尋ねたが、半数が「準備なし」と答えている。これからの高齢社会、道のりは険しそうだ。

投票や民主主義が最善の手法とは限らないが、国家や地域、共同体というものは、私たち自身で選択し、運営せねばならないという社会への参画意識について、私たちはイギリスに学ぶべきだろう。

すべては、私やあなたのこと、である。

特定医療法人財団五省会

理事長 西能 淳



さんかくせんいなんこつぷくごうたい
TFCC(三角線維軟骨複合体)損傷
かも!?

手首の小指側にある三角線維軟骨複合体(TFCC)という組織が損傷されることで、痛みがでる病気です。原因は、けがによるものと、加齢にともなうものに大別できます。



教えて!
堂後先生②

もっと知りたい手外科のコト
TFCC損傷について

こんな症状ないですか?



ドアノブを回せない



銅などの
重いものが持てない

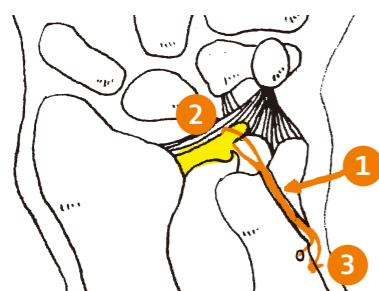


タオルを絞ることが
できない

通常、安静時に痛みはないが、腕を捻ったり、手首を小指側に曲げた時に、手首(小指側)に痛みを感じる。

関節鏡下TFCC断裂縫合術

損傷したTFCCの縫合をする手術です。関節鏡という小さな内視鏡を用いて行うので、**小さい傷で、周囲の組織の損傷を最小限**に手術できます。



- 1 関節鏡で見ながら、骨の正確な位置にトンネルを開けます。
- 2 三角線維軟骨に縫合糸をかけます。
- 3 最後に、縫合糸をトンネルから引き出し、近くに縫合します。

治療法

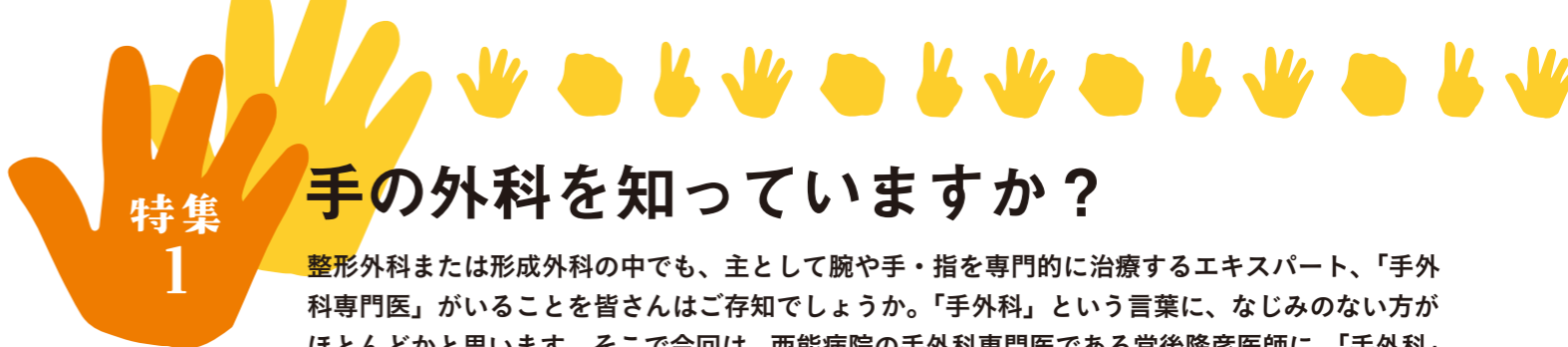
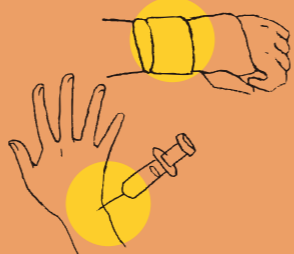
基本的には…**保存治療**

1 固定やサポーターによる局所安静

2 注射で炎症を抑える

手術治療

多くの場合は、保存治療が有効です。改善しない場合は、手術治療を選択することもできます。MRIや内視鏡検査などで、靭帯の損傷具合を細かくチェックし、関節鏡下縫合術や尺骨短縮骨切り術などを行います。



特集
1

手の外科を知っていますか?

整形外科または形成外科の中でも、主として腕や手・指を専門的に治療するエキスパート、「手外科専門医」がいることを皆さんはご存知でしょうか。「手外科」という言葉に、なじみのない方がほとんどかと思えます。そこで今回は、西能病院の手外科専門医である堂後隆彦医師に、「手外科」について教えていただきました。



手外科とは?

肘から指先までを診療範囲とし、骨折、痛み、しびれや動きの障害について、専門の見地から診療を行う分野です。骨折、切断指などの外傷や、先天奇形の治療を行うことが多かった昔と比べ、最近は、関節が損傷したり、変形したりして生じる「関節疾患」や「変性疾患」と呼ばれるものが増えています。
主な病気としては、腱鞘炎、バネ指、手根管症候群などがあります。



赤い部分に
手根管症候群 しびれ・痛みが出る

男性より、女性に多く生じる症状で、人差し指、中指を中心に、しびれや痛みが出る病気です。症状が進むと、親指の付け根がやせてくるので、細かい作業ができにくくなります。



バネ指

手の指に起こる、腱鞘炎です。指が動かしにくく、伸ばすときに引っかかるような、バネ現象がみられます。進行すると、指は曲がったまま、伸びなくなることもあります。

教えて!
堂後先生①



放っておかないで!
痛みやしびれも
専門医へ

●**どんなときに手外科をたずねたらいいの?**

手の痛みやしびれが続く場合は、放置せず、手外科専門医のいるクリニックでの受診をおすすめします。関節疾患や変性疾患は、手の使用を抑えたり、炎症を抑えることで、一時的には症状がおさまる場合もありますが、放置することによって、自然治癒がうまくいかなくなり、手術が必要となる場合もあります。早期発見・早期治療が大切です。

●**手外科専門医でなければならぬの?**

手には、皮膚、腱、神経、血管、骨などの重要な組織が、複雑に配置されています。それゆえ治療には、特別な機器も必要となります。正しい治療を受けていただくためにも、手の組織を熟知している専門医をたずねてください。保存治療から手術治療まで、考えうる治療の選択肢を、しっかりと患者さんにご説明したうえで、相談をしながら治療を行います。



西能病院/整形外科センター西能クリニック
どうご たかひこ
堂後 隆彦 医師
専門分野: 手外科、整形外科一般
出身: 千葉県
趣味: 旅行 最近では、スリランカに行ってきました!

西能病院・西能クリニックの手外科について

「手外科認定研修施設」です

西能病院は、臨床実績が豊富な医療施設として、日本手外科学会より富山県においても数少ない、「手外科認定研修施設」(県内4施設)の認定を受けています。

手外科専門医が所属しています

県内で認定を受けている手外科専門医は、当院の堂後隆彦医師を含め、5名のみです。また、堂後医師は早くから手関節鏡(手首の内視鏡)を導入しており、現在、北陸で最も多くの手関節鏡視下手術を行っています。

紹介患者さんを受け入れていきます

手外科専門医のもとでの治療が必要な、紹介患者さんの受け入れを、地域の医療機関より、積極的に行っております。

一人でも多くの患者さんに、正しい治療を受けていただくためにも、手外科専門医の存在を、広く社会的に認知していただければ、より積極的に受け入れていきます。

患者さん
voice

**手外科の診断を受けて
新たな発見が。**

●**受診のきっかけは?**

子供のサッカーの試合でテントを立てようとしたときにバランスを崩し、手首が「グキツ」とものすごい音を出して変な方向に曲がりました。靭帯が切れているかもしれないと思い、休日でも診療している西能クリニックを受診し、堂後先生の診断の結果、TFCCの損傷と判明しました。

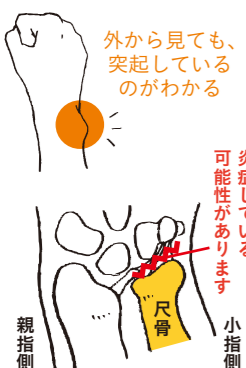
●**どんな治療法でしたか?**

手術と保存治療の2つの選択肢があるとの説明を受け、当初は、装具をつけた保存治療を選択しました。その後、痛みが改善しなかったため、手術することを決めました。手術は1泊2日で、1週間後に抜糸を行いました。今は、腕の違和感もなくなり、快適な日常生活を送っています。

●**手外科の診断でわかったこと**

堂後先生から、今回のケガをする前から、TFCCが損傷していた可能性があると言われました。私は、手首の尺骨が人より長いので、炎症を起こしていた可能性があるそうです。学生時代にバレーボールをしていたのですが、手首が痛いのは腱鞘炎だと思っていたので、テーピングをしたり、患部を冷やしたりと自己対処していました。TFCC損傷が原因だったかもしれないので、早めに専門医に診てもらったことが大切だと思いました。

※**手首の尺骨が長い人の特徴**



外から見ても、突起しているのがわかる

炎症している
可能性があります

まえかわ あや
前川 綾さん

五省会医師・スタッフによる 地域交流セミナー始めました

地域の皆さんの健康をサポートするため、五省会に所属する医師や理学療法士、管理栄養士などが行う、さまざまなプログラムをご用意しました。

出張講座もあるよ!



ご興味のある方は…

ご希望のプログラムをお選びいただき、下記の連絡先までご相談ください。プログラムの内容や日時などにつきましては、ご相談に応じますので、お気軽にお尋ねください。
連絡先：介護老人保健施設みどり苑
電話 076-428-5565
担当者：支援相談員 長嶋

アクティビティ

<h3>カラダを動かす篇</h3> <p>日常生活の中で出来る、健康チェック法やトレーニング、リハビリの仕方などを、専門スタッフ(理学療法士)が実演する講座です。</p>	<h3>ロコモに負けない身体になろう</h3> <p>ロコモティブ・シンドロームの正しい知識と予防を説明します。健康チェックも行います。</p>	<h3>スポーツのケガとリハビリを知る</h3> <p>医師やスポーツ障害の専門職員が、ケガの再発予防と競技力向上につながる体幹トレーニングを紹介します。</p>	<h3>自宅でできる簡単トレーニング</h3> <p>リハビリ担当の職員が、自宅で出来る筋力アップトレーニングの実演を行います。</p>
<h3>食事篇</h3> <p>管理栄養士が行う、食をテーマとした講座です。レシピ紹介やお料理教室も行うので、幅広い年齢層の方におすすめします。</p>	<h3>“口から食べる”ことの大切さ</h3> <p>高齢になっても、口から食べて健康を維持することが大切です。3回シリーズの充実講座です。</p>	<h3>防災対策と非常食レシピ</h3> <p>家庭で出来る防災対策や非常食を利用したメニュー&レシピを紹介します。</p>	<h3>プロが教える“健康レシピ”</h3> <p>糖尿病や高血圧に悩む患者さんに役立つ、健康レシピを紹介します。</p>

座学

<h3>病気について学ぶ</h3> <p>医師が直接、病についてお話しする講座です。医師との交流を深める機会にさせていただけると嬉しいです。</p>	<h3>整形外科の病気のあれこれ</h3> <p>骨折や手足のしびれ・痛みなどについて、当院の医師が、分かりやすくお話しします。</p>	<h3>高齢者の生活と安全について</h3> <p>入浴中に亡くなる方のほとんどは、高齢者です。正しい知識と対策をお教えます。</p>	<h3>脳や頭の病気の予防&対策</h3> <p>脳神経外科専門の医師が、脳卒中(脳血管障害)やめまい・頭痛について詳しく解説します。</p>
<h3>医療・介護を学ぶ</h3> <p>知らなかったら困る、医療・介護の制度について、専門職員(支援相談員、医療相談員など)がわかりやすく解説します。これからの人生で役に立つこと間違いなしの講座です。</p>	<h3>医療機関・施設の相談員を知っていますか?</h3> <p>“ソーシャルワーカー”がどんなことをする人なのかを説明します。入院時などにご活用ください。</p>	<h3>介護保険の利用の仕方</h3> <p>健康なうちから把握しておきたい、介護保険のあれこれについて解説します。</p>	<h3>「要介護になったらどうする?」を考える</h3> <p>簡単な自己診断とともに、自分または身内の方が要介護になった時のことを考えてみませんか。</p>

サロン

医療・介護でお悩みの皆さん、一緒に情報交換をしませんか? 薬のはなしや介助方法指導など、日頃気になっていることについて、話しあいましょう。

●特にこんな方におすすめ

- 高齢者の方
- 患者さん・利用者さんのご家族
- スポーツの好きな方
- とにかくみんなに知ってほしい
- お子様と一緒に
- 学生さん
- 医療関係者

やりました!

“笑いヨガ教室”を開催しました! 7/16

防災士の資格を持つ明地(めうち)職員が、富山市五福「かたかご保育園」にて、減災をテーマにした絵本「リオン」の読み聞かせを行い、自分の身を守る大切さを園児たちに伝えました。

9/1

富山市「下野新公民館」にて、高齢者の食事についての講義を、館川美貴子管理栄養士が行いました。

5/10 看護の日イベント 西能病院1階にて

7/23 みなみ通所リハ 見学&体験会 西能みなみ病院にて

9/24 調理実習 若竹みんなの家に 講師 栄養士 山崎開子さん

出張講座 「高齢者の食事～低栄養を防ごう～」 9/15

講師 笑いヨガ認定ティーチャー 染谷明子先生

コミュニティサロン「若竹みんなの家」にて「笑いヨガ」教室を行いました。「ハハハ」と大きな声で笑い、心身ともにリフレッシュできる時間となりました。

保育園にて、減災絵本の読み聞かせを行いました。

今後の予定

高齢者の骨折
講師：西能病院 副院長 市村和徳医師
10月10日(金)午後2時～3時
ふるさとづくり特別講演会
会場：新保文化会館

健康で生き生きと生きるために～脳卒中患者さん 40年の診療から学んだこと～
講師：みどり苑 施設長 西島美知春医師
11月1日(土)午後1時～2時
みどり苑 健康教室 会場：みどり苑

健康寿命をのばそう! 食事でロコモ予防
講師：西能病院 管理栄養士 米原 恭子
11月2日(日)午前11時～11時半
神明地区文化祭
会場：神明小学校 体育館

特集2

地域包括ケアシステムについて考える

これからの医療・これからの地域を見つめて

日本では、世界でも類を見ないスピードで高齢化が進行しています。11年後の2025年には団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)となり、医療費など社会保障費の急増が懸念されています。これからの医療や介護、これからの地域を見つめて、五省会では地域の皆さんとどのようなコミュニケーションをとっていきべきかを考えていきます。



最終回

対談

五省会理事長
西能淳

ワールドリーデザイナー代表
明石あおい

西能理事長と編集担当の明石代表による対談を、2回にわたりお届けしてきました。最終回は、「地域に求められる医療機関・介護施設あり方」についてお話しします。

「地域に開いていく挑戦」

西能 まちづくりに携わってらっしゃる明石さんから見た、「地域に望まれる医療」とはどのようなものでしょうか。

明石 私が考える、地域に開かれた医療施設・介護施設とは、「普段から知っている」「病になつてから行くのではなく、健康になるための応援をしてくれる」「健康」というテーマで新しいコミュニケーションが生まれる場所である」という視点を持っています。病気になる前からの、関係づくりが大切だと思います。医師や医療スタッフが地域へ出向く「地域交流セミナー」(P5参照)は、地域が望む医療・介護のあり方についての答えのひとつであり、五省会の挑戦でもあると捉えています。

「本質を見失わない」大切ナ

西能 ここ最近、病を扱うテレビ番組が増えています。病気の知識を増やすことも大切ですが、身近な医療や介護の制度についての知識をしっかりと持つことも大事です。ね、「地域交流セミナー」では、地域の皆さんがプログラムに参加することで、社会の一員として何らかの役割を担うという意識を持っていただければと考えます。五省会はそれを応援していき存在でなければいけないと思います。「地域交流セミナー」がその役割の一つを担ってくればと思います。

西能 なるほど。我々が直面している問題の本質は、まさにそこに表現されている気がします。地域包括ケアシステムの中で、中心にあるのは「住まい」です。(P4上段の図参照) テレビで取り上げられるような病を意識するだけではなく、自分が過ごしている空間をベースとした、「普段の生活の中での医療を考えた」ことが必要となってくる。五省会ニュース「ようこそ」についても医療の知恵や仕組みを、地域の方にしっかりと伝え、興味をもってもらえるような誌面づくりで、地域と医療機関の架け橋となる広報紙にしていきたいですね。

明石 皆さんの意識を高めるためにポイントとなってくるのは、興味の無い人にも、どのように伝えていくのかです。そこで思い出したのですが、アメリカ人のアレックス・カーさんが書いた「犬と鬼」という著書があります。中国の古典「韓非子」に出てくる故事に由来した著書名なのですが、「犬や馬のように、すぐ身近にいる存在は、正確にとらえることが難しいけれども、派手で大きな創造物である鬼は、誰にだって描けるものである」という意味だそうなんです。日常的に関わっているはずの医療制度などに関しては意識しなくても、珍しい病など、目立つものに関しては、みんな興味を持ってしまつたんです。

西能 なるほど。我々が直面している問題の本質は、まさにそこに表現されている気がします。地域包括ケアシステムの中で、中心にあるのは「住まい」です。(P4上段の図参照) テレビで取り上げられるような病を意識するだけではなく、自分が過ごしている空間をベースとした、「普段の生活の中での医療を考えた」ことが必要となってくる。五省会ニュース「ようこそ」についても医療の知恵や仕組みを、地域の方にしっかりと伝え、興味をもってもらえるような誌面づくりで、地域と医療機関の架け橋となる広報紙にしていきたいですね。

※中国の古典「韓非子」に出てくる故事「犬馬難、鬼魅易」(けんばむつかしきみやすし)



中国・内蒙古医科大学のリハビリテーション医師2名が、五省会の4施設を訪れ、内モンゴル自治区の医療技術向上を目的とした研修を行いました。最終日には、交流会の席を設け、リハビリについての意見を交換しました。当院、当施設のスタッフにとっても貴重な経験となりました。

中国の医師が研修に来られました
7/14, 7/31

倫理研修
医療・介護の現場で働く、新人職員を集めた倫理研修を開催しました。日頃感じている疑問や悩みを持ち寄り、グループワークを通して、倫理原則や倫理綱領に照らして、どの様な対応ができれば望ましいかなどを討議しました。

五省会 研修のご報告
コミュニケーションスキルアップ研修
若年職員を中心に、法人施設をご利用いただく皆さんに「安心」と「信頼」を与えることができるよう、接遇と第一印象の重要性についての実践的な研修を行いました。



7/23
8/22

みどり苑 富山短大生が施設を見学しました
7/1

富山短期大学福祉学科1年の皆さんが、みどり苑に来苑し各部署を見学しました。富山短大卒業生である、みどり苑介護福祉士の野末菜々さんが、先輩としてのアドバイスと介護に対する思いを伝えました。未来の医療・介護を担う方々のお役に立てるよう、今後もお手伝いしていきます。

自衛消防隊 消防操法大会に参加
8/28

初期消火技術の動作・スピードを競い合う、「第9回消防操法大会」(主催：富山市危険物安全協会)が開催されました。五省会からは8名の隊員が参加し、3人一組で行われた屋内消火栓の部(女子の部)において3位入賞。また、男子の消火器の部についても、中野悟さんが入賞を果たしました。

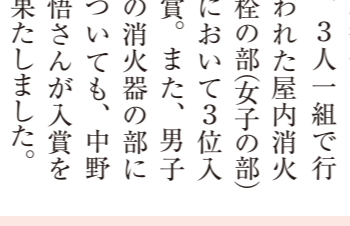


テーマは沖縄！ 納涼祭を行いました
8/2

地産地消にこだわった屋台や沖縄カフェなどをご用意し、今年も賑やかな納涼祭となりました。沖縄民謡に合わせて、参加者の皆さんと職員が、手を取り合いながらカチャーシーを舞う光景なども見られ、和やかで楽しい時間を過ごすことができました。

「通所リハビリ 家族交流会」を開催
7/5

通所リハビリの利用者さんご家族の方、地域ボランティアの方々、民生委員、地域の企業の方、居宅介護支援事業所のケアマネージャーさんなどをお招きし、家族交流会を開催しました。利用者さんからご家族の方への感謝の手紙紹介やリハビリマシン体験などを行い、通所リハビリへのご理解を深めていただきました。

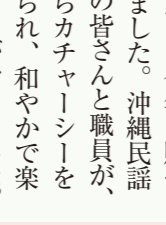
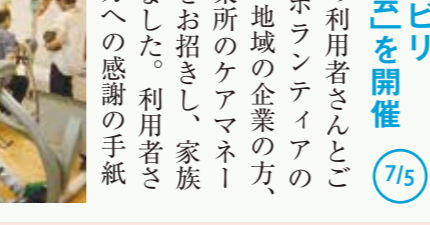


西能みなみ病院 西能みなみ病院文化祭
11月1日(土) 13時~16時
短時間型通所リハの説明・体験会、作品発表があります。

告知 五省会 学生をサポートします！ 奨学金制度のご案内

五省会では、看護師・介護福祉士を目指して勉強する学生の皆さんを対象に、奨学金を貸与しています。奨学金の貸与については応募についてなど、詳しい情報は左記の、五省会ホームページにてご確認ください。

追悼 大島秀信先生
県内画壇をけん引してきた日本画家で、元日展参加の大島秀信さんが8月末に逝去されました。大島さんは富山市五福にお住まいで、西能正一郎初代理事長と深い親交がありました。旧病院玄関ホールに展示されていた作品「森」は、新病院に移設され、現在も来院される方の心を癒し、静かに見守り続けてくれています。



健康で居続けたい！ 大鷲 一郎さん (85)
「健康で居続けるため、まずは“真っすぐ歩くこと”が目標」と、レッグプレスやエアロバイクなど、足の筋力と耐久性を強化する、下半身のトレーニングに、励んでいらっしゃいます。外来診療を受けていたときは元気がなく、笑顔も少なかったという大鷲さんですが、取材中には、他の利用者さんや職員と、終始楽しそうに会話をしている姿を見ることができました。「病は気から」と言うけれど、本当にその通りだね。みんなと言葉を交わしていると、すごく元気がでるんです」と、にこにこ顔で話してくださいました。

「健康で居続けるため、まずは“真っすぐ歩くこと”が目標」と、レッグプレスやエアロバイクなど、足の筋力と耐久性を強化する、下半身のトレーニングに、励んでいらっしゃいます。外来診療を受けていたときは元気がなく、笑顔も少なかったという大鷲さんですが、取材中には、他の利用者さんや職員と、終始楽しそうに会話をしている姿を見ることができました。「病は気から」と言うけれど、本当にその通りだね。みんなと言葉を交わしていると、すごく元気がでるんです」と、にこにこ顔で話してくださいました。

心から元気になれるんです。
「スタッフの方が、身体だけではなく“気のもと”まで治してくれた」と、リハビリ職員を前に、少し照れくさそうに話す大鷲一郎さん。20年ほど社交ダンスをしていたそうで、背筋がピンとしていて姿勢が良く、とてもハンサムな方です。以前は、西能みなみ病院の外来診療を受けていましたが、歩行練習や筋力アップトレーニングを行うために、今年の2月から「通所リハビリテーションみなみ」に通い始めました。

「小さい変化を見つけることが好きなんです」と話す、理学療法士の山崎友美さん。みどり苑に入所されている方や通所リハビリに来られる方が、自立した日常生活を送ることができるよう、歩く、立ち上がる、起き上がるなど、基本動作の改善のお手伝いをしています。症状やその日の体調に合わせて、入所者さんや利用者さん一人ひとりと丁寧に向き合っていく中で、「笑顔が増えてきたな」「今日はたくさんお話をしてくださったな」など、交流の中でうまれる「小さな喜び」を感じる瞬間が、とても幸せです。

「入所者さんや利用者さんは、人生の大先輩です。友達同士のようには砕けた関係性ではなく、しっかりとした信頼関係を築いていきます。情熱の中にも、決して冷静さを失わない、カッコいい女性です。」

得意の社交ダンスのポーズを披露！

西能みなみ病院 作業療法士 作田 裕子さん

患者さん・利用者さんのほっこりするお話をお届けします。

<http://www.sainouhp.or.jp/>

担当医は都合により変更になる場合があります。
ホームページ上の「外来診療スケジュール」にて
休診・代診などの情報をご確認ください。

整形外科センター

西能クリニック

富山市高田 71 番地 1 ☎076-422-1551

再診予約専用ダイヤル

整形外科 ☎076-422-1552
リハビリ ☎076-422-1553

電話予約：月～金

午前 8:30～12:00
午後 1:30～5:00

H26.4月から
土日も交替制
になりました。

	平日診療						休日診療	
	受付時間	月	火	水	木	金	土・日・祝	
整形外科	午前 8:30～11:30	●市村 和徳 ●信清 正典 ●青木 雅人 ●西能 健	●山田 均 ●橋口 津 ●堂後 隆彦 ●御旅屋 宏史	●山田 均 ●信清 正典 ●橋口 津 ●川口 善治 (9:00～)	●山田 均 ●橋口 津 ●仲井間 憲成	●山田 均 ●信清 正典 ●堂後 隆彦	午前 8:30 ～ 11:30	交替制
リハビリ テーション科	午後 3:00～5:00	●山田 均 ●御旅屋 宏史	●信清 正典 (16:00～) ●青木 雅人 ●仲井間 憲成 ●御旅屋 宏史	●山田 均 ●市村 和徳 ●松下 功	●山田 均 ●堂後 隆彦 ●御旅屋 宏史	●山田 均 ●青木 雅人	午後 1:30 ～ 4:30	交替制
	午後 5:00～6:30	●堂後 隆彦	●信清 正典	●松下 功	●橋口 津	●青木 雅人		
リウマチ科	午後 2:00～6:00			●松下 功				

★午後
5:00～6:30
こちらの時間帯は、診療・
リハビリとも完全予約制
となっております。

西能病院

富山市高田 70 番地 ☎076-422-2211

	受付時間	月	火	水	木	金
内科	午前 8:30～11:30	●森田 弘之	●森田 弘之	●松井 祥子 (～11:00)	●森田 弘之 (11:00～)	●大黒 正志
	午後 3:00～5:00			●森田 弘之	●芦澤 信之	
麻酔科	午前 9:30～11:30	●増田 明 ★予約制 (顔面・顔陰瘻外来)				



西能みなみ病院

富山市秋ヶ島 145-1 ☎076-428-2373

介護老人保健施設

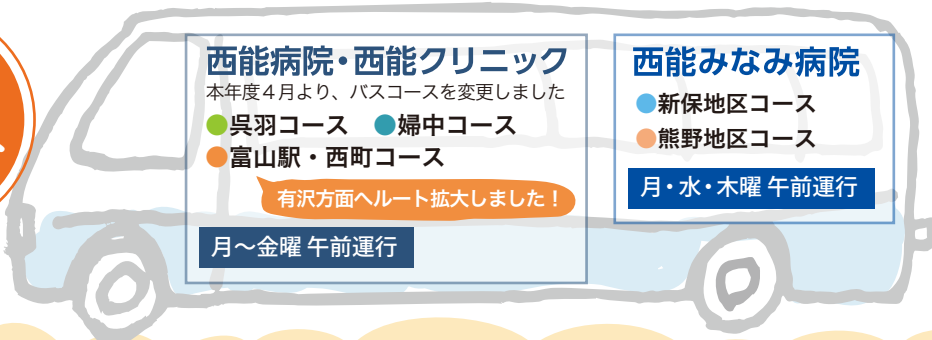
みどり苑

富山市秋ヶ島146-1
☎076-428-5565

受付時間 午前9:00～12:00	月	火	水	木	金	土
整形外科 リハビリ テーション科	整形休診 リハビリ 再診のみ	●市村 和徳	●市村 和徳	整形休診 リハビリ 再診のみ	●市村 和徳	整形休診 リハビリ 再診のみ
内科	●石原 元	●森本 茂人	●石原 元	●石原 元	●姫野 太郎	●石神 慶一郎
短時間型 通所リハ	平日午後1:30～3:00、3:15～4:45					

- 入所サービス
 - デイケア (通所リハビリテーション)
 - ショートステイ ●居宅介護支援事業所
- ボランティア募集**
【時間】月・火・木・金の午前・午後
【内容】入浴後のドライヤーかけ、
利用者の活動サポート、話し相手

無料
送迎バス



西能病院・西能クリニック

本年度4月より、バスコースを変更しました

- 呉羽コース ●婦中コース
- 富山駅・西町コース

有沢方面ヘルト拡大しました!

月～金曜 午前運行

西能みなみ病院

- 新保地区コース
- 熊野地区コース

月・水・木曜 午前運行

自由乗降です。
バスがきたら
手をあげて合図を
してください。

運行ルートや
発着時刻は、
ホームページまたは
受付でおたずね
ください。

編集 後記

今回の
ふきだし

地域交流セミナー、一度お試しください。(Y.I) いつでも相談にのりますよ♪(N)
素敵な表紙写真、毎号楽しみにしています。(A) 今までよりも季節を意識するようになりました。(Y)
表紙写真お待ちしております!!(T) 収穫の季節、めでたい!(H・K) カターレ富山応援してます!(M・K)
最近飼い始めた犬にメロメロです。(H.I) 今回も内容大盛りで、ごちそうさま!(S) 編集：ワールドリー・デザイン

★五省会職員の皆さんから表紙の写真を募集しています。奮ってご応募ください!

